



【3位決定戦・八学光星—八工大—】4回表、八学光星2死一塁、野呂が右越えに2点本塁打を放ち8—0とリード。投手・廣野、捕手・葛西—長根公園

# 光星投打で圧倒 工大一無念

## コールド負け

【評】八学光星が投打で圧倒した。初回に先制すると、三回、中澤と野呂の一塁打、井坂の本塁打などで一挙4得点。四回には野呂の2点本塁打など打者一巡の猛攻で5点を挙げ突き放した。先発宇田は、打たせて取る投球で5回中3回を三者凡退に抑え、攻撃のリズ

ムをつくらせなかった。八工大一は、けが明けの主戦廣野が10失点と乱闘。二、三回に得点圏まで走者を進めたが、あと1本が出ず、好機をものにできなかった。

「光星らしい」意識

○：4安打と沈黙した前日の準決勝から一転、13安打11得点と光星打線が爆発した。主砲野呂は「きのうは相手を意識しすぎて本来の攻撃ができなかった。直球を強く打つ、光星らしいバッティングをしよう」とみんなを意識したのが得点につながった」と手応えを語った。

今大会、初めて4番を

任された野呂は、三回に「た。ただ、快勝にも準決るまず、負けない気持ち適時二塁打、四回に2点勝敗退の悔しさが残る。で甲子園に行きたい」と本塁打を放つ活躍を見せ「夏はどこが相手でもひりベンジを奮った。」

春季

### 県高校野球



最終日

春季県高校野球選手権は最終日の29日、八戸市長根公園野球場で決勝と3位決定戦を行った。昨年夏の県大会決勝と同じカードとなった決勝は、青森山田が森川、馬場の本塁打などで弘前学院聖愛に12—2で完勝し、3年ぶり12回目の優勝を果たした。同地区対決となった3位決定戦は、八学光星が13安打の猛攻で八工大一を圧倒し、11—0でコールド勝ちした。青森山田は本県第1代表、弘前学院聖愛は同第2代表として、6月8日から福島県で行われる東北大会に出場。八学光星は補欠校となる。

(本紙取材班)